

# 当院消化器内科受け入れ予約について

患者総合支援センター地域医療連携室 看護係長 北村 美幸

消化器内科の完全再開後より、下記の予約枠から患者さまの受け入れをさせていただきます。

## 1. 外来診療について

月曜日から金曜日 10 枠/日 確保しています。

\*ご希望の日時をお知らせいただくと、希望日時に近いところでご予約を取らせていただきます。

\*診療情報提供書が出来上がりましたら、事前に FAX をいただきますようお願いいたします。



## 2. オープン検査について

### ① 胃カメラ（経鼻も可能）

月曜日から金曜日 9 時と 10 時の空き枠でご予約を取らせていただきます。

\*ご希望の日をお知らせいただくと、希望日で予約を取らせていただきます。

\*抗血栓薬の内服の有無についてお知らせください。

（基本的に無休薬にて検査を行いますが、複数内服をされておられる方は薬剤の置き換えか外来受診をお願いすることがあります。）

\*鎮静下でのご依頼の場合は、外来受診をご案内させていただきます。

### ② 大腸カメラ

当院で2年以内に大腸カメラを受けられた方で無症状の方は、オープン予約とさせていただきます。

それ以外の患者さまは、外来受診をご案内させていただきます。

（胃カメラ・大腸カメラの同日予約も外来受診をご案内させていただきます。）

### ③ 腹部エコー

木曜日・金曜日の9時枠を確保しています。

# お知らせ

## 歯科・歯科口腔外科からのお知らせとお願い

1. 初診患者さまをご紹介いただく場合は、診療情報提供書を事前に FAX にてご送信いただきますようお願いいたします。

2. 医師の異動により、令和3年3月からインプラント治療に関する初診患者さまの受け入れを当面中止させていただきます。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

## 分娩・産婦人科診療（手術・入院）一時休止のお知らせ

当院では、令和3年4月以降の分娩・手術・入院治療を一時休止させていただきます。

受診中の患者さまをはじめ、関係機関の皆さまにはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

## 編集後記

この冬の雪は山間部の積雪量が多く、コロナ以外でも自宅で過ごすことが余儀なく強いられました。

今年初めて、母に教えてもらいながら味噌作りに挑戦をします。

寒の時期にすること。何を準備するのかなど、知り得ることも多くありました。

今だからこそできることを今後も探していきたいものです。

Pink-Bu



# 市立長浜病院 地域医療連携だより

令和3年2月1日号 No.194

理念  
地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を発展させ、  
地域完結型の医療を進めます。

市立長浜病院  
患者総合支援センター 地域医療連携室  
〒526-8580 長浜市大茂町 313 番地  
TEL : 0749-65-2720  
FAX : 0749-65-2730  
<http://www.nagahama-hp.jp/>



救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院  
地域医療支援病院

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2月の外来診療担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

# いつでも頼りにされる消化器内科を目指して

## 消化器内科責任部長 兼 診療局長補佐 西田 淳史

### <はじめに>

当院の消化器内科は、2018年10月から滋賀医科大学からの医師派遣がはじまり約2年が経過しました。

現在は常勤医師6名で診療を行っております。地域の主幹病院として、1年365日、24時間体制で、消化器疾患および緊急内視鏡検査に対応可能な体制（2名のオンコール医師）を整備しております。

さらに、地域がん診療連携拠点病院として消化器がん、各種肝胆膵疾患および炎症性腸疾患を中心とした難病についても積極的に取り組んでいます。また、慢性疾患については地域の先生方と共同で診療を進めております。

### <診療体制>

外来診療は、今年度から患者さんの増加に伴い、患者さんの待ち時間短縮および個々の患者さんに応じた丁寧な診療を行えるように2診体制から3診体制に変更しております。

1診は主に病診連携の紹介患者さん、2診は予約診および当日受診の患者さん、3診は予約診とそれぞれ役割を分担して診療しております。また、地域の先生方との連携がスムーズに行えるように当日病診連携の紹介も受け入れる体制を整備しております。

消化管疾患以外に、肝疾患、膵疾患に対する診療にも広く対応可能です。

また、患者さんの治療方針に関して多方面からの意見を取り入れて決定するため、1回/週で内科・外科・放射線診断科/治療科・病理診断科とともに症例検討を行い、ベストの治療方針を提供できる体制にしております。

【消化器内科外来診療担当医表】

	月	火	水	木	金
1診	西田	今枝	西野	西田	今枝
2診	西野	安藤(1・3週)	酒井	野田	大脇
3診		西田	今枝	今枝	村上



上列左から  
大脇 悠司 専攻医 酒井 奎太郎 専攻医 西野 恭平 部長  
下列左から  
今枝 広丞 部長 西田 淳史 責任部長 野田 恵加 部長

2 ページへ続く

## 消化器内視鏡センター設立に向けて

### 内視鏡室 看護主幹 井上 弘美

消化器内視鏡検査を受ける患者さまから「できれば受けたくないのにな」とネガティブな意見を耳にすることがあります。内視鏡検査は、一般的に苦痛を伴う検査と思われがちかと思えます。私たち内視鏡室を担当させていただいている看護師は、検査介助につかさせていただくたびに少しでも苦痛を緩和できるように、また楽に検査を受けてもらえるように声かけやタッチング等行うなど、苦痛の緩和に取り組んでいます。



なかなか楽な表情になれない患者さまを見るともどかしい気持ちになる時もありますが、一人でも多くの患者さまに「今日は楽に受けられたわ」「ありがとう」と言って帰っていただけよう努めています。また、羞恥心に配慮する必要のある検査でもあり、不必要な露出を避け安心して検査が受けられるよう日々心がけています。

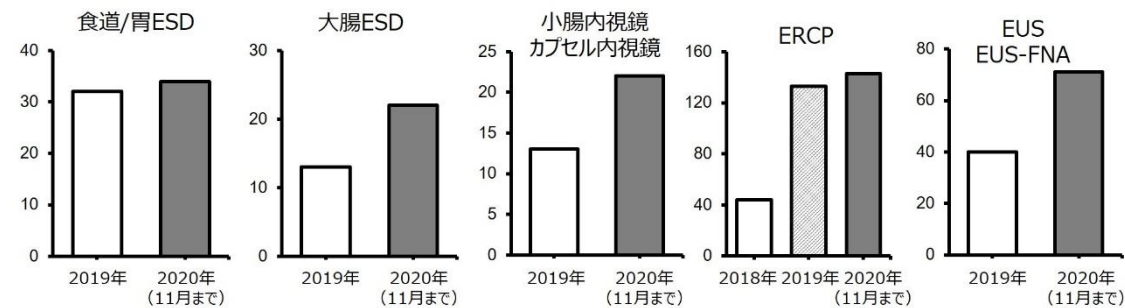
昨年度消化器医師増員により検査数が増加し、検査内容も多様化してきました。それに伴い看護師・洗浄スタッフが増員され、日々検査・治療の自己研鑽を図りつつ業務にあたっています。来年度には消化器内視鏡センターが移設し拡充されます。これにより近隣地域で専門性のある検査・治療を受けいただける機会が増えることとなります。また、安楽に検査を受けていただけるようにリカバリールームを設け、日帰り鎮静下内視鏡検査導入が予定されています。少しでも患者様に寄り添う看護が出来るように、またコロナ禍での感染に対する配慮も行いつつ安全安楽に検査が受けただけのよう、より一層努力していきたいと思えます。また、何か心配なことやお聞きになりたいこと等がありましたら相談に乗らせていただきますので、お電話や来院時に看護師までご相談ください。

### <内視鏡センター>

内視鏡検査は、常勤2名～3名および大学病院等からの非常勤医師で行っております。上部内視鏡検査では、今年度から極細径の経鼻内視鏡(GIF-1200N)を追加導入し、より苦痛の少ない検査を目指しています。

内視鏡検査数の増加と紹介患者さんの増加によって、早期食道がん、早期胃がん、早期大腸がんおよび側方発育型腫瘍などに対して内視鏡治療(内視鏡的粘膜下層剥離術:ESD)を行っており、治療件数も増加してきています。また、胆膵疾患に対しては、超音波内視鏡(EUS)および超音波内視鏡ガイド下針生検(EUS-FNA)を行っており、低侵襲な診断が可能となっています。

総胆管結石、胆道や膵疾患に伴う閉塞性黄疸などの治療、診断のための内視鏡的逆行性胆膵胆管造影(ERCP)も随時行っております。近年、増加傾向にある炎症性腸疾患の診断や小腸疾患の診断のための、待機的な小腸カプセル内視鏡やバルーン小腸内視鏡検査も必要時にできる限り対応できる体制を整備しております。



### <最後に>

地域の先生方および大学病院をはじめ各地域の主幹病院の先生方には、いつも大変お世話になっております。この場をお借りして消化器内科医師一同御礼申し上げます。

患者さん中心の医療を地域の先生方と構築していきたいと考えており、積極的に逆紹介も行っております。緊急性のある消化器疾患への対応や、原因不明の腹部症状、精査が必要そうな疾患疑いなど、とりあえず困ったときは市立長浜病院消化器内科へと思っただけのよう迅速かつ丁寧な信頼される医療を提供できるよう日々努力しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 消化器内科外来より消化器内科検査を受けられる方へ

### 消化器内科外来 看護師 久保田 才紀子

当院の消化器内科外来では、2019年4月から消化器内科医師が増員となり、胃カメラ、大腸カメラ、大腸ポリプ切除術、肝生検、バリウム検査、内視鏡的粘膜下層切除術、ERCP、小腸カプセル内視鏡等の検査を実施しています。

外来看護師は、入院患者さまも含め1日に300件以上の検査説明をさせていただきます。高齢者の方や初めて検査を受けられる方、糖尿病等の基礎疾患をお持ちの方も多くおられます。

検査について説明する時には現在内服されている薬を確認させていただきます。抗凝固薬や糖尿病薬等を内服されている場合、検査によっては内服中止の必要があります。

その為、検査前は薬の調整が必要であり、一つ一つ確認しながら説明させていただいています。検査前の絶飲食時間や注意事項等、時間をかけて患者さまには納得されるまで説明し、安全に検査が受けただけのよう努めています。

また、検査結果後治療開始となる消化器内科疾患に胃がんや大腸がん等により化学療法を受けておられる方がおられます。認定看護師や専門看護師と情報交換をしながら、患者さまにとってどのような関わりが必要か考え看護させていただいております。

質問等、何でもお気軽にお声かけ下さい。



## 当院の消化器内科入院患者の看護について

### 5階東病棟 看護師長 北川 真由美

5階東病棟は、外科・消化器内科・眼科・形成外科を主に受け入れる急性期の混合病棟で、手術や検査目的、がん治療での症状緩和、化学療法、疼痛コントロール等の目的で入院される患者様を受け入れています。

消化器内科で内視鏡的に腫瘍切除や碎石、切開術、ドレナージ術もされますが、疾病の経過において外科手術が必要となれば外科転科し手術となります。転科となった場合でも当病棟で治療となり、同じスタッフが看護させていただいていますので、療養環境が変わることなく入院生活を送っていただいています。

疾病の回復に向けて、異常の早期発見、合併症の予防、不安の軽減を図りながら、少しでも安全安楽に手術や検査・治療が受けられるようにケアに努めています。また終末期においても苦痛や痛みが少しでも和らげQOLが維持でき、患者家族さまの思いに添えるように他部門や他職種ともに連携を図り看護を行っています。



## 当院の消化器内科疾患の退院支援について

### 患者総合支援センター地域医療連携室 看護師 柏本 真奈美

地域医療連携室で退院支援看護師として働いています。

消化器内科疾患では、がん患者さんも多く、末期がんの方も多くおられます。末期がんの患者さんや家族と接していく中で、「患者さんやその家族が、この先病気をもちながら、どのように生きていけばよいか」というところから、「最期の療養先をどこにするのか。自宅に帰るのか、それとも病院で看とるのか」というところまで、何らかの選択が出来るように支援しています。

患者さんや家族の「介護力」や「医療依存度」を把握した上で、入院中の患者さんであれば退院前にカンファレンスを実施し患者さんや家族、在宅医や訪問看護師、ケアマネージャー、病院医師、看護師、理学療法士などと一緒に話し合い、安心して退院できるように関わっています。また、外来看護師とも連携し、外来通院中の患者さんが入院せずになるべく在宅で過ごせるように、地域の関係機関とも連携を取りながら支援をしています。

